

第 4 9 回  
全国日蓮宗青年僧結集大会  
～ 御 案 内 ～

東日本大震災  
被災物故者慰霊  
復興祈願法要

# 御挨拶

岩手県日蓮宗青年会会長 梅澤 宣周  
東北いわて大会実行委員長 西山 文生

陽春の候、各单位日蓮宗青年会におかれましてはご健勝のことと思われ  
れます。

さて、本年3月11日午後2時46分に起きました大地震、そして大  
津波では数多くの命が奪われ、甚大な被害となりました。この広範囲に  
及ぶ大災害は私ども岩手県にもその影響があり、火災で1ヶ寺焼失、津  
波で1ヶ寺流失、また、沿岸地域の会員が居住する町は壊滅状態となり  
ました。

多くの皆様からお見舞いのお言葉、義援金、物資のご提供、そして現  
地での支援活動をいただき、心より感謝申し上げます。

この事態を受け、岩手県日蓮宗青年会では日蓮宗岩手県宗務所災害対  
策支部のもと、復興支援活動に邁進しているところであります。

東北いわて大会実行委員会ではこの状況下で6月14、15日の東北  
いわて大会を開催することは困難と判断、東北ブロック長ならびにブロ  
ック内単位日青会長の承諾を得て、3月28日の全国日蓮宗青年会執行  
部会議でお諮りいただき中止とさせていただきます。

交通宿泊手配等、準備をすすめていただいていた中、ご迷惑をおかけ  
いたしますが事態をご理解していただきご了承いただければと思いま  
す。

何卒、宜しく願いいいたします。

第49回全国日蓮宗青年僧結集大会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。  
 3月11日に発生した国内観測史上最大規模の東日本大震災及び大津波と大火災、未だに続く余震、この未曾有の大災害によって、多くの尊いいのちが失われました。犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された方々に対して心からお見舞い申し上げます。また福島の原因事故で、その地域周辺は大変な危機にさらされております。まさに末法の世、全日青約50年の歴史の中でも未だかつてない難局を迎えている昨今、我々青年僧の真価を問われるとき、この現実と向き合い、犠牲となり、被災された方々の痛みを共有し、「衆生救済」をするべく、この天災を乗り越えていかなければなりません。すでに、具体的に活動されている単位日青会、また義援金を頂戴した皆様方には、ご尽力に深く感謝申し上げます。

当初より予定しておりました東北いわて結集…。その開催地が被災されている為、実行不可能となり、東京に開催地を移す運びとなりました。大危機を迎えている今だからこそ、岩手結集テーマでもある「雨二モ負ケズ」の常不軽菩薩の精神を踏まえ、異体同心のもとに「東日本大震災被災物故者慰霊・復興祈願法要」を厳修し、そしてこれからの災害対策、復興支援に共に邁進するための決起大会に致したいと存じます。

青年僧各聖に於かれましては、是非ともご理解ご協力、多くのご参加を賜りますようお願い申し上げます。

全国日蓮宗青年会会員各聖に於かれましては、為法為宗の御活躍の段大慶に存じます。また日頃より全国日蓮宗青年会の活動に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

この度の「東日本大震災」にて東北・関東太平洋側沿岸に甚大な被害を被ったことは御承知の事と存じます。本年の結集大会は「東北いわて大会」と御案内しておりましたが、いわて大会実行委員長西山文生上人と緊急に協議を諮り、岩手では断念せざるおえない結論に至りました。

大震災・大津波後一ヶ月が経ち、死者1万3千人強・行方不明者1万4千人強、延べ約3万人の被害者が確認されている現在、今私達青年僧にできることは「同心」の下、共に集い「祈ることができる」と考え、別紙「大会要綱」の通り「第49回全国日蓮宗青年僧結集大会」を開催することとなりました。

生存を信じている行方不明の方、お亡くなりになられた御仏一霊一体、約3万人の方々に対し、「自我偈3万巻数経」御回向・御祈願いたしたいと思っております。

私共執行部の熱意をお汲み取り下さいまして、立正安国・仏国土建設に寄与していく志の下、多くの青年僧の皆様が御参加下さいます事を心よりお願い申し上げます。御案内と代えさせていただきます。

# 大会要綱

❖日にち：平成23年6月14日（火曜日）

❖場 所

法 要：池上本門寺 本殿

〒146-8576 東京都大田区池上1-1-1 電話 03-3752-2331

会 議：日蓮宗 宗務院 5階講堂

〒146-8544 東京都大田区池上1-32-15 電話 03-3751-7181

❖日 程

午前10時00分 受 付（池上本門寺 本院事務所）

午前11時 東日本大震災被災物故者慰霊・復興祈願法要

午後0時30分 宗務院5階講堂にて昼食

午後1時30分 代表者会議 並 総会【同時開催】

午後4時 閉会行事 終了後解散予定

❖参加費：5,000円

・参加費は、当日に各单位日青会ごとにお納め頂きます。

・参加費は、会場費・昼食代などの諸経費として使用させて頂き、残金は全て全国日蓮宗青年会災害義援金に充てさせて頂きます。

❖持参品

・法要時：法衣

全日青執行部・各会代表者【足袋・白衣・絹紬袴・白本衣・茶金五条・数珠】

一般青年僧 【足袋・白衣・絹紬袴・道服（改良服）・折五条・数珠】

・総会時：道服（改良服）または布教服・折五条・筆記用具

❖申 込：各日青会で取りまとめ頂き、申込用紙にて5月末日までにFAX  
または郵送にてお申込ください。

【返信FAX番号 045-812-7676】

## 法要について

- ❖現在インターネット中継を使い、被災地に本法要の様子が届けられるよう準備を進めております。
- ❖本法要は、一般の方々の参列もお受けしております。檀信徒などにも広くお声掛けください。

## 各青年会へのお願い

東日本大震災での死者、行方不明者は3万人とも伝えられております。一人ひとりの犠牲者に対し“追善の誠を捧げ、”更には“被災地の早期復興を祈る、”ことが、僧侶のできる最大の支援活動ではないかと考えます。

そこで全国の青年僧の力を結集させ“自我偈三万巻数経、”を企画致しました。6月14日の結集の法要では、池上本門寺本殿を拝借し、一万巻の自我偈を読誦致します。残りの二万巻を各单位日青会、全国の青年僧のお力をお借りし、三万巻の読誦成就を目指して参ります。

現在、全日青加盟55管区、各日青会には364巻以上の自我偈読誦を6月14日の結集前までにお願ひ申し上げます。朝勤での読誦や管区いこの読誦会開催など、読誦の方法は厭いませぬ。

全日青未加盟の日青会にも協力を得られるよう発信し、努めて参りたいと考えております。何卒ご協力頂けますようお願い申し上げます。

本件につきまして、ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

例) 10名の青年僧によって、10巻のお自我偈を読誦することによって、100巻の自我偈読誦が成就されます。  
10名×10巻=100巻

ひとりでも多くの青年僧にご参加協力を頂けることを願っております



全国日蓮宗青年会

～事務局～

〒245-0051 横浜市戸塚区名瀬町 772-4 妙法寺内

電話 045-811-0256 FAX 045-812-7676

E-mail [info@myouhouji.jp](mailto:info@myouhouji.jp)

U R L <http://myouhouji.jp>